

算数科 学 習 指 導 案

単元名「長さ」〔学指要領：C（1）ア（ア）（イ）、イ（ア）〕

令和5年10月24日（火） 第3校時 3年教室
南牧村立南牧小学校 3年1組

【授業改善の視点】

距離と道のりをくらべる活動において、ロイロノートの絵地図にメモしたり、長さを読み取ったりすることは、長さの特徴の違いに気が付くことに有効であろう。

本時の学習（3／5）

1 ねらい ロイロノートの絵地図に書き込んだり長さを読み取ったりする活動を通して、距離と道のりの意味の違い、 $1000\text{m}=1\text{km}$ であることを理解できるようにする。

主な学習活動 予想される児童の反応〔S〕	主な発問	○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（10分）</p> <p><めあて> いろいろな長さを調べて、長さについて考えよう。</p>		<p>○クイズを出題しながら前時の復習を行えるように、クイズを作成させておく。【★提示】</p> <p>○長さの単位を確認する事で、長くなると単位が変わる事を意識させる。</p>
<p>2 2地点間の長さを調べる。（15分）【★収集】</p> <p>絵地図をみて、どんな長さがあるか調べよう。</p> <p>S：まっすぐな長さ、まがった長さがある。 S：まっすぐな方が800m、まがった道は900m S：まっすぐな長さは道じゃないところを通ってる。 道にそって進むと長さが少し長くなる。 S：まっすぐの長さは「きより」、道にそった長さは「道のり」というんだね。</p>		<p>○道のところに引かれている線、道ではないところに引かれている線に気が付くことができるように、絵地図をよく観察させる。【★配布】</p> <p>○実際に通る道の長さ、道関係なくどれだけ離れているかを表している長さに気が付くことができるように、どんなことを表している長さなのか問いかける。</p> <p>○距離と道のりの意味の違いが明らかになるように、対比させながら絵地図に色分けをして線を引かせる。</p> <p>○距離は道のりよりも長くなるということはないということに気が付くことができるように、道のりと距離の違いを求めさせる。</p>
<p>3 地図を見て「道のり」を調べる。（15分）【★共同編集】</p> <p>家からいろいろな場所までの長さを調べよう。</p> <p>S：交番までの道のりは1200m S：数字が大きくて分かりづらいな S：kmという単位があってわかりやすくなった</p>		<p>○〔km〕を導入し大きな単位があると便利であると気付けるように、mを単位として表すと数値が大きくなり長さをつかみにくいという考えを促せるよう問いかける。</p> <p>○$1\text{km}=1000\text{m}$の関係をもとにして、1kmを1000mの10倍と捉え直させることで、1kmの大きさを多面的に捉えさせる。</p> <p>○前時に測った長さを具体的な物に置き換えることで、1kmの量感を得ることにつなげていく。</p>
<p>4 めあてに対するまとめを確認し、学習内容を振り返る。（5分）【★データの保存・提出】</p> <p><まとめ> まっすぐにはかった長さは「きより」、道にそってはかった長さは「道のり」という。1000mは1kmと表すことができる。</p>		<p>○めあてを確認し、児童自身でまとめられるようにする。【★表示】</p> <p>◆評価項目（知） ワークシートからア（ア）、「距離や道のりについて考え、特徴に気が付き理解しているか」を評価する。</p>
<p><振り返り> S：きよりと道のりのちがいが分かった。1000=1kmの長さを知って、見やすく便利だと思った。kmの単位の書き方が分かった。出かけるときは気にして看板とかを見てみようと思う。</p>		